

一次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

地球の歴史は四六億年、生命の歴史は三八億年と言われている。地球ができて間もない頃からずっと生物は絶滅することなく続いている。だから生物は続くようにできている、回って続いていくのが生物なのだと考えてよいと思う。

私たちの体は非常に①フクザツにできている②セイミツな構造物だ。これをどうすれば維持できる？ 例えば、③永遠に建ち続けられる建物はどう建てたらいい？

一番簡単なのは、絶対に壊れない建物をつくること。しかしこれは不可能だ。かたちあるものはときがたてば絶対に壊れる。物理学には熱力学の第二法則というものがあり、ときがたてば秩序あるものは必ず無秩序になっていくのだ。永遠に続く建物は、絶対に壊れないようにするというやり方では建てられない。

壊れてきたら直せばいいという考えもある。現存する世界文化遺産は大抵そういうふうになっている。法隆寺がそうだが、新しい部分と古い部分がごちゃになっていくのだから、④腫れ物に触るようになって、遺産というかたちで保存するしかない。⑤現役でバリバリ働けるというものでもない。

では、働き続けられる建物をどうすれば建てられるのか？ その答えは伊勢神宮だ。

伊勢神宮は式年遷宮といって二〇年ごとにまったく同じものを建て替えてしまう。持統天皇以来、一三〇〇年続いているが、⑥今も現役で機能している。これほど長い年月機能し続ける建物は世界でほかにない。まったく同じものを建て替えて続けていくというやり方は、とても賢い方法だ。

しかし、⑦伊勢神宮は世界文化遺産に指定されない。なぜなら、西洋人いわく「これはただかだか一五年しかたっていないから」。けれども、日本人の感覚からすれば「回っているから一〇〇〇年続いているのだ」となる。これは時間に対する見方の違いだと思う。そして、生物は⑧方式だ。

生物は現役で働いている。身体は使っていれば擦り切れるものだから、年を経るとうまく働かなくなるし、治しても⑨支障が出てくる。だったら⑩アンチエイジングとか何とか言っていたらばたせず、古くなったらさっさと⑪オスで、まったく同じ新しいものをつくれればいい。それが「子どもをつくる」ということなのだ。そうして⑫しながら人類は五〇〇万年続いているし、生物全体としては三八億年続いている。

私たちは永遠に生きることができないけれど、子どもというかたちで自分とそっくり同じ私を次の世代につくることはできる。子どもは私、孫は私。そうやってずっと続いていくのが生物というものなのだ。

(中略)

時間をまっすぐ進むものと考えれば、私たちの一生は一回きりだ。とすれば「死んだら後は知らない」という感覚になる。

⑬x、今の私がよければ、次世代の私が⑭赤字国債で苦しもうが地球環境が悪くなつて苦しもうとも「知ったこっちゃない」となる。⑮y、実は子どもというかたちで私が残し、孫というかたちで私が残る。生物はずっと続いていくのだ。

残念ながら、⑯そういう感覚が今の日本人からは抜け落ちてしまっている。

※注1 「アンチエイジング」：年をとることからくる心身のおとろえに対抗しようとする事。

※注2 「赤字国債」：国が財政の赤字を補うためにする借金のこと。

問一 ———— アーオについて、漢字は読みをひらがなで答え、カタカナにはあてはまる漢字を答えなさい。

問二 ———— ①「永遠に建ち続けられる建物はどう建てたらいい？」とありますが、その答えとして正しいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 絶対に壊れない建物をつくる。

イ 壊れてきたら直し、遺産として保存する。

ウ まったく同じものを建て替え続ける。

エ 永遠に建ち続けられる建物を建てることはできない。

問三 ———— ②「腫れ物に触るようにして」とは、どのようにすることを言い表していますか。正しいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 宝物として大切に扱うこと。

イ 軽んじてぞんざいにあつかうこと。

ウ よごれたものとして嫌々いやいやあつかうこと。

エ おそろおそろ気をつけてそつとあつかうこと。

問四 ———— ③「今も現役で機能している」の主語を答えなさい。

問五 ———— ④「伊勢神宮は世界文化遺産に指定されない」とありますが、その理由をわかりやすく答えなさい。

問六 A にあてはまる言葉を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 世界文化遺産 イ 法隆寺 ウ 伊勢神宮 エ アンチエイジング

問七 B にあてはまる四字熟語を次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ほんまつてんどう 本末転倒 イ せだいこうたい 世代交代 ウ ななころびやわき 七転八起 エ いっきいちゆう 一喜一憂

問八 x、y にあてはまる言葉をそれぞれ次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ そして ウ つまり エ ところで オ なぜなら

問九 ———— ⑤「そういう感覚」とはどのような感覚ですか。四十字以内で答えなさい。

問十 あなたの家庭や学校で、受けつがれて続いていることがらにはどのようなことがありますか。それを大切にしている理由もふくめて解答用紙に作文しなさい。

二 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

(俺(シンジ))は、病弱なキョウスケといつも一緒にいる。ある日、キョウスケしか友達がいなと思われ、仲間はずれになりかかっていることに気づく。仲間はずれになりたくない俺は、「ゆうちゃん」という人気者の親友がいると嘘をついてしまう。

それからことあるごとに、俺はみんなの前でゆうちゃんの名前を出した。

それは、今まで何故こうしなかったんだろうと思うほど楽しかった。ゆうちゃんは茶髪で、日焼けしてて、本物のプロのサッカーの選手みたいにかっこいいこと。俺も、ゆうちゃんの学校のクラスメイトにまざってサッカーの試合にこっそり出たこと。プレーを褒められ、チームにスカウトされてること。

今、このクラスにいる俺は仮の姿で、①話の中にいる俺が本物の自分なんだという気がした。それは嘘とか現実逃避とかいう言葉を超えて、ものすごく真に②セマった感覚だった。本当にそうなのだから、それを疑うヤツがいたらそっちの方がおかしいんだ、と③心底思えるほどに。

何しろ、④不在の証明は、存在の証明と違ってとても難しい。

(中略)

たとえば、サッカーの試合で、作戦会議に入れてもらえなくて、だけど⑤久々のサッカーが嬉しくて、ボールを意気揚々と運び出したら、「自分勝手な個人プレーだ」って⑥セめられた時。チーム全員から非難され、睨まれた時も、「もしも」と思えば耐えられた。「もしも」

※

『やめるよ。③それ、お前らがみんな下手くそだから、シンジのことが羨ましいんじゃないの?』

ちよつとバカにするように目を細める。俺を振り向き、微笑んで⑦サムズアップのポーズを決める。

『シンジ! さっきのドリブルはすごくよかった。さすがだ』

それから、ある時はこう言った。みんなが一目置き、誰もが親友になりたいヒーローであるゆうちゃんが、俺とキョウスケの肩を抱く。

『このクラスのヤツらつてみんなつまんねーよな。この中で信頼できるのって、シンジと、あとはキョウスケくらいだ』

頭の中でうつとりと彼の声を聞く。ゆうちゃんの顔は、その時好きなアニメの主人公やスポーツ選手だったり、女子に人気のあるアイドルの誰かだったり、あるいはそれらの要素を少しずつ盛り込んで混ぜたような顔だったりした。

ゆうちゃんのいる、そっちが本当の現実だ。

ふつと意識を緩めて、非難ごうごうの時間がまだ続いていても、そう考えれば平気だった。

ある日、麓の町のピアノ教室に通ってる女子が「向こうの学校に友達ができた」と言い出した。たまたまレッスンが一緒になったんだって。

「シンジくんの友達のことも知ってるかな」

「絶対、知ってるよ。目立つもん、ゆうちゃんは」

聞いてみなよ、と声を出しながら、だけど内心は冷や汗をかいていた。どうしよう、どうしよう、どうしよう。ゆうちゃんは確かに存在してる。「嘘」っていうのは違うと思った。それは、俺のためにとってよりは、むしろ、④ゆうちゃんに対して失礼だって気持ちの方が、今は強かった。かっこつけて言ってるわけじゃなくて、本当にそうだった。ゆうちゃんがいなかったら、俺には耐えられないことがいっぱいある。

どうしよう、どうしよう、どうしよう。

その日、家に帰って布団にもぐってから、俺は考え続けた。⑤おなか痛くなってきた。あの女子は、なんで、そんな

遠くのピアノ教室に通ってるんだよ！と、キレそうになる。ゆうちゃんがいなくてことがわかったら、あの子はそれをいいふらすだろうか。

「ゆうちゃん」っていう名前の別の男子が麓ふもとの小学校に偶然ぐうぜんいたりしないだろうか。——いたとしても、俺の親友の「ゆうちゃん」には、到底とうてい及ばない普通ふつうの子だろう。だけど、その麓の小学校の子も「あ、いるよ」くらいに軽く答えて、あんまり深く話さないかもしれない。どうか、そうしてくれないだろうか。

何かをこんなに強く願ったことはなかった。布団の中で身体をエビみたいに曲げ、じっとしたまま、念じ続けた。神様、どうか。

その時からずっと、初詣はつもうでの時も⑦七夕たなばたの時も俺が唱となえ続ける願い事は同じだ。

『天あまぺん地ぢいを起こしてください』

書いた短冊たんざくを横から覗のぞき込んだキョウスケが「これ、どういう意味？」って聞いてきたことがある。俺は答えた。「⑤奇跡きせきを起こして欲しいってこと」と。

※注1「サムズアップのポーズ」：親指を立てるしぐさのこと。日本では一般的いっぱんに「いいね」を意味する。

問一 — ⑦⑧について、漢字は読みをひらがなで答え、カタカナにはあてはまる漢字を答えなさい。

問二 — ①「話の中にいる俺が本物の自分なんだという気がした」とありますが、同じ内容を表している一文を本文中から二十字でぬき出しなさい。(「」。「」は一字に数えます。)

問三 — ②「不在の証明は、存在の証明と違ってとても難しい」とはどういうことですか。正しいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「ゆうちゃん」が存在するかしないかというのは、本やインターネットなどで調べなければわからないということ。

イ 「ゆうちゃん」を知っているのが「俺」だけだからといって、「ゆうちゃん」がいらないと言い切れないということ。

ウ みんなが「ゆうちゃん」の話を信じているので、「ゆうちゃん」がいらないことを証明するのは難しいということ。

エ 「俺」の中では「ゆうちゃん」は存在しているので、「ゆうちゃん」を不在にすることはできないということ。

問四 「俺」の話の中に出てくる「ゆうちゃん」はどんな人物ですか。中略より後ろの本文中から十四字でぬき出しなさい。

問五 ※ には「()」、きつとこう言う。」という一文が入ります。() にふさわしい表現を二十字以内で考えて答えなさい。

問六 — ③「それ」の指す内容を「サッカーの試合で」という出だしに続けて十五字以内で答えなさい。

問七 — ④「ゆうちゃんに対して失礼だつて気持ちの方が、今は強かった」とありますが、どうして「俺」は「ゆうちゃん」に対して失礼になると考えたのでしょうか。次からあてはまるものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「ゆうちゃん」は現実存在しているのに、麓の町にいないからといって嘘だと決めつけられては困るから。

イ 「俺」の中では、現実と空想がいまいになって、「ゆうちゃん」が本当に存在しているように思えてきたから。

ウ 皆が尊敬した「ゆうちゃん」が存在しないと知ったら、「ゆうちゃん」がバカにされるかもしれないと思ったから。

エ つらいことがあると空想の中に入って過ごすなど、「ゆうちゃん」のおかげで助かったことがいくつもあったから。

問八 — ⑤「おなかが痛くなってきた」とありますが、どうしておなかが痛むのか理由を考えて答えなさい。

問九 — ⑥「奇跡を起こして欲しい」とありますが、「俺」の願った奇跡の内容を考えて答えなさい。

受験番号

氏名

*のらんには、何も記入しないでください

*

[illegible]

問九	問八	問七	問六	問五		問三	問二	問一										
			サッカーの試合で		「もしも」			オ	ア									
									つつた									
										イ								
				ウ														
					エ													
											められた							